

～秩父札所も回りました～

秩父神社と歴史散策

秩父市内の歴史的建造物の多さにビックリ！

雲一つない天空。その秋の一日、パワースポット秩父神社を参拝しました。夜祭で有名ですが、昼参拝で健康と勇気をいただきました。隣接するまつり会館で、「ちちぶ夜祭」の迫力映像や実物の山車を見ました。

造り酒屋の蔵元武甲酒造さんでは、丁寧な案内があり、待望の試飲をし満足でした。

一時代を築いた秩父銘仙、その会館で地域興隆への貢献の歴史を勉強しました。

日時：2016年10月26日（水）09：00～16：00

参加費：1,000円（含む入場料2か所660円）

交通費：池袋—秩父往復1,600円

参加者：10名

リーダー：神山清英 受付：國分光洋



秩父神社の社殿前 お決まりの集合写真

順路

出発；西武池袋駅→西武秩父駅→13番札所慈眼寺→番場町散策 歴史建造物観光→秩父神社 参拝→秩父駅；昼食→武甲酒造；蔵元見学 →秩父まつり会館；山車見学 →秩父銘仙館；産業見学 →西武秩父駅→西武池袋駅（帰着）



秩父には秋がたわわ

近くのなにげない民家の庭先に、大ぶりの柿が豊かに実っていました。秋ですね！



秩父13番札所 慈眼寺

秩父札所巡りのひとつ、目のお寺として有名なここにまずお参り。本日の安全を祈願しました。

秩父市街番場町の歴史建造物

秩父市街には、歴史の古い街並みが残っていました。以下写真でのご紹介です。

おいしい肉の味噌漬けで有名なお店。当日は定休日でしたので、これは下見の際に撮影した写真です。間口が広い大きなお店です。



有名な小池煙草店です。四辻に居を構え、四方からのお客さまをお迎えする風情です。煙草が一大産業だったことを思い出しました



宮前家の門、立派ですね。昭和初期の作とのこと。秩父神社のすぐ近くで、存在感あり、樺の木目が印象的でした。

秩父市の案内版

道路に埋め込まれていて、行きたい方向がよくわかります。



秩父市の消火栓

消火栓の蓋にも、祭りのデザインがありました。



秩父神社

秩父神社は2千年前に建立で、学業成就と縁結びにご利益のある神社です。思いっきり願い事を並べ、慎ましやかにお賽銭をあげてお参りました。

秩父神社の社殿の木彫「子育ての虎」は、左甚五郎作だそうです。迫力あります。



武甲酒造

造り酒屋さんの見学は楽しいものです。麹菌が醸し出す香りに包まれて、お米がお酒になるまでの複雑な化学反応を勉強しました。日本人には麹の発酵食品が身近で、酒蔵に親しみを感じました。



秩父まつり会館

「秩父夜祭り」の雰囲気と賑わいを、いつでも楽しめるようにと展示されていました。

屋台・笠鉦の常設展示コーナー、圧巻は夜祭りのハイライトの場面がいっぱいに写し出される大画面映写コーナーです。館内は祭り一色でした。

ちちぶ銘仙館

秩父織物や銘仙などの伝統を見学しました。お蚕さんからの絹糸のつむぎ工程、機織りの力織機の実物があり懐かしく感じました。



秩父市の「どこいくべえ」案内柱

市内に100か所あるそうで、ここには町名が記銘されています。上部には開運の像があり、おしゃれな案内柱です。



アフターも楽しみました

池袋駅東口で解散後、有志7名まだまだ元気いっぱい。東口の居酒屋さんで喉と胃を潤しました。おしゃべり満開で、楽しい楽しい2時間でした。

参加感想文

田上有三

西武池袋駅改札口にて待ち合わせ。飯能駅乗り換えで西武秩父駅まで。名物の秩父そばを食べようと、番場町界隈を散策するが水曜日はほとんどのお店がお休み。結果として秩父駅構内でそばを食べる。観光地なのにあまりの熱の無さに驚いた。日頃はこんな感じなのかもしれない。

秩父神社に参拝し、秩父まつり会館での大画面映写コーナーで秩父夜祭の雰囲気味わう。武甲酒造で数種類のお酒を味わい、その後、ちちぶ銘仙館を見学。

暑い中での散策でしたが楽しい一日でした。池袋駅解散後に有志で懇親会をやりました。こちらも結構、盛り上がりました。

三宅まり子

初めて秩父の地を踏みました。とても落ち着いた土地で、街の各所に登録有形文化財の表示がありました。

秩父神社の左甚五郎の彫刻・秩父まつり会館と武甲酒造など、どこも素敵でした。旧家も現役の住居で残っており、門にしめ縄のある家等、秩父の底力を感じました。秋の一日、思い切り楽しみました。

國分光洋

西武池袋線の改札口に集合。秩父までの電車の旅の始まりです。当日は快晴に恵まれ、移り行く車窓の風景をたっぷり味わうことができました。

都会の喧騒を離れ一時間も走ると、秩父の山々の青く澄んだ稜線が見えてきます。西武秩父駅には、池袋から2時間ほどで到着しました。

[秩父神社] 関東屈指の古社の一つで、武甲山の男神と総鎮守の秩父神社女神との年一度の逢瀬の物語があります。夜祭りが有名。

[武甲酒造 柳田総本店] 江戸の中期、宝暦3年(1753年)創業で蔵内を案内していただきました。この酒は地元で90%以上が消費されるため、秩父以外では手にはいないとのこと。

[打ち上げ] 秩父探訪を無事終え、池袋駅に6時頃着きました。今日一日を振り返り皆様との親交を深めるため、打ち上げの盃を交わし、多に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

村上紀子

WSCの日帰り旅行がいつもそうであるように、またまたこの上ない絶好の日和に恵まれて、楽しい旅になりました。

私は所沢に住んでいるので、秩父は何回か訪れていますが、街中を歩く機会が意外となかったので、今回の企画はとても楽しみでした。地元の商店街は定休のお店が多くて“昼食難民”になり、どこか食事のできる場所を求めてさまよったのも、いい思い出です。

途中、造り酒屋さんで利き酒をさせていただき、飲めない私も少し楽しみました。私は家の最寄り駅で途中下車してしまいましたが、残りのメンバーの方は、池袋到着後、きっともっと本格的にお酒と会話を楽しまれたことと思います。

飯塚完子

西武鉄道にて秩父入り。街中には、歴史的建造物が多く、道路に沿って、それらを見学しながら秩父神社にお参りしました。清々しい気分になったところで、まずは腹ごしらえからと、おいしそうな蕎麦屋を探すが何処も休業日の札が出ている。街全体が水曜日休日でに気が付き、各自それぞれ分かれての昼食となった。

昼食後武甲酒造店を訪れ、お酒の仕込みから、瓶詰め迄の行程の説明を受け後、いよいよ試飲!!数種類の瓶が並べられ、ついつい全種類飲み干してしまった?(小さいグラスだったが...)その後、店内を巡り、自分のためのお酒の小瓶を買ったり、辛みそなどのお土産品を買って、酒造店を後にした。

次は秩父夜祭会館でのプロジェクト・マッピング。迫力ある祭りの様子がよく判り、心奪われた。実際の祭りの日に行ったら、踏みつぶされかねないので、映像だけで満足することにした。

最後に秩父銘仙館へ。昔懐かしい柄などの織物がたくさん並び、遠き日を思い出しながら、一寸は織物体験したいと思った。

無事予定の行程を済ませ池袋に戻り、有志のみで駅前の居酒屋「海鮮山鮮」でお疲れ直し。最初の生ビールの美味しかったこと!それにしても、旅と言うものは皆さんと親しくなれる絶好のチャンスだと思いました。これからも日帰り参加をしたいと思いました。